

## PRESIDENT'S MESSAGE



SAMUEL ZUDER

先日、ロータリアンとローターアクターとオンライン会議を行ったのですが、画面上に映る笑顔を見つめながら、短時間でロータリーが遂げた変化の大きさを実感しました。ロータリーが“オールド・ノーマル”(以前の常識)に戻ることがないのは明らかです。そしてそれは、胸躍るチャンスだと思うのです。

ロータリーを見直し、つくり直す中で、革新と変化があらゆるレベルで起こっています。ロータリーの新たな柔軟性がデジタル文化と融合して、これまでに見たことのないような変化を引き起こしています。レベッカ・フライさんのようなロータリアンには学ぶところが大いにあります。まだ31歳ですが、ロータリーでの経験はすでに15年というベテランです。

「ロータリーは、世界を変えるための素晴らしいプラットフォームだと思います。最大の影響を及ぼすには、世界に変化を起こすための力を人々に与えることだと私は信じています。私はRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)とローターアクトで、そして今、新しく創出したソーシャルインパクトネットワーク・ロータリークラブの初代会長として、リーダーシップについて学んでいます。

新クラブ創設の鍵は、ロータリー学友に働き掛けることです。ロータリー学友の中には、ロータリークラブに入りたくても自分に合ったクラブが見つからない人もいるということは、23~41歳の会員31人中のほぼ全員がロータリーの学友で占める私たちのクラブが証明しています。

大事なものは、プライベートや仕事上の目標にロータリー活動を組み込むこと。クラブ創設に当たって、会員にとっての価値に重点を置き、会員に合わせた新しいクラブのモデルを確立することにしました。また、ロータリー親睦活動グループやロータリー行動グルー

プなどの国際的なつながりを生かして、クラブを超えた活動ができるようにしました。

いつでも会員の関心事に応えられるように、Microsoft Teams(コミュニケーションツール)を使ってオンラインで例会やプロジェクトを行っています。これはまた、会員をある地域に限定していないということも意味します。会員の多くがオーストラリア在住ですが、中にはドイツやイタリア、メキシコ、

タンザニア、アメリカ在住の会員もいます。

そして、プロジェクトの影響を知ることも非常に大事です。今年7月には、プラスチック使用を減らすために一人一人ができることを伝える意識向上キャンペーンを実施し、6,000人以上に働き掛けました。どこでも誰でも参加でき、確かな成果が得られるプロジェクトです。私たちのクラブを通じて、人々が共に新しいロータリー体験を得ていることを誇りに思っています。今後のことを思うと楽しみで仕方ありません」

どのロータリークラブも、レベッカさんのクラブのように革新的なクラブになることができます。こうしたクラブを信じて、彼らに学び、支援しましょう。ロータリーの変化は草の根レベルで起こります。変化を推し進めるのはクラブです。クラブが、新しいロータリーの在り方を見つけていくのです。

変化は絶え間なく起こり、多くの分野でまだするべきことがあります。さまざまな背景を持つ人々の貢献をたたえ、少数派の人々を応援し、彼らが会員やリーダーとしてロータリーに参加する機会を増やしていくのは重要なことです。

ロータリーがより多様な人々を歓迎し、より重要な存在となり、誰にとってもより一段と楽しい活動になるようにするためのツールなら、私たちの手の中にあります。今こそ、そういうツールを活用しましょう。そうすれば、ロータリーは私たちにも、そしてまだロータリーを知らない人々にも、機会の扉を開いてくれるのです。

**HOLGER KNAACK**

2020-21年度 国際ロータリー (RI) 会長



原文(英語)はこちらから

[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

レベッカ・  
"ベック"・フライ  
ソーシャルインパクト  
ネットワークRC